

## 普及現地情報

発信年月日:令和2年(2020年)5月28日
所属名:湖北農産普及課
番号:G20006
部門分類:150(野菜)
発信者名:辻村、川村藤、長瀬

### タマネギの収量予測調査を実施!

5月20日(水)、JAレーク伊吹管内の各生産者のタマネギ収穫適期と収量を予測し、収穫機械等の稼働計画や出荷計画を策定するため、JAと連携して管内のタマネギほ場17か所を巡回し、収量予測調査を実施しました。

JAレーク伊吹管内では加工・業務用タマネギが18ha作付けされており、当課はJAレーク伊吹と連携してタマネギ生産者を対象に施肥や雑草管理、病虫害防除の研修会を開催するとともに、これまで延べ9回のは場巡回を行い、タマネギの安定生産を目指して推進してきました。

今回の調査では各生産者のは場でタマネギの球径(球の直径)を測定し、過去のデータに基づき出荷規格の「直径7cm以上」となる時期と収穫適期の予測を行いました。これらのデータに基づきスケジュールを組んで、今後各生産者がJAのレンタル農機を用いて適期収穫に取り組む予定となっています。また、実需への計画的な出荷となるよう予測収量も試算しました。

現在、中生品種「ターザン」では既に倒伏が始まっていますが、晩生品種「もみじ3号」の倒伏はこれからとなります。予測の精度をより高めるため、6月以降も引き続きは場巡回で調査を行うとともに、病虫害の発生にも注意しながら今後もタマネギの省力・安定生産と新しい産地育成に向けて支援していきます。



収量見立てのために球径を測定中